

いざというときの 心構え

大雨による洪水や土砂災害に備えた避難方法・避難場所

土岐市洪水ハザードマップ



市では、平成13年度に「土岐市土岐川洪水ハザードマップ」を作成し、浸水想定区域に指定された土岐津町・肥田町・泉町に配布しました。その後、土岐川河川災害復旧等関連緊急事業および小里川ダム建設に伴い土岐川の浸水想定区域が見直されたことや、新たに妻木川と肥田川の浸水想定区域が指定されたことにより、「土岐市洪水ハザードマップ」（本紙4月15日号と同時配布）を作成しました。

今回の洪水ハザードマップは、より地元の意見を反映させるために、浸水想定区域内の自治会代表者などに検討会へ参加していただき、そこで出された内容をマップに掲載しました。

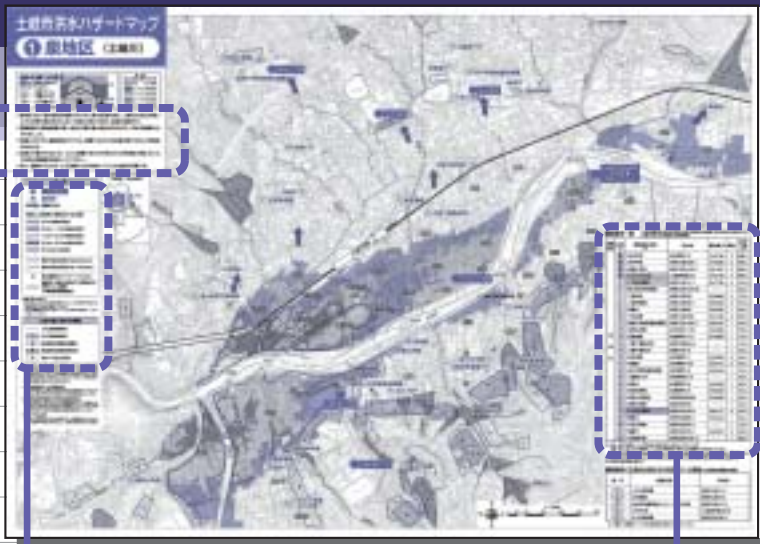
そこで今回は、その内容の一部を紹介するとともに、マップを見る上での留意点をお知らせします。これからの雨季に備え、平常時から準備すべきことや避難の仕方・注意点などについて、今一度家族みんなで確認してみましょう。

洪水ハザードマップ

1 泉地区(土岐川)

検討会で出された内容

- 泉地区では、浸水想定区域図で示された浸水区域のほかに、土岐川の水位が高いときに伊野川などの支川において浸水の恐れがあり、注意が必要です。
- 避難場所への移動距離が長い地区や橋を渡る地区があります。早めの避難を心掛けましょう。
- 地図に示された避難場所だけでは、避難する方々を全員収容できない可能性があります。
- 迅速に行動できるように、どこに避難するのかをあらかじめ各地区で話し合っ、ご近所の連絡網を強化してください。
- 避難するときは、土石流などの土砂災害についても注意が必要です。



■避難所一覧

村居地区	番号	避難施設名称	所在地	電話番号	階数	収容人数
1	1	泉小学校	泉中道町1-5	54-2185	3	300人
2	2	泉中学校	泉町大宮1635-1	54-2295	3	440人
3	3	泉西小学校	泉町久野1413-2	55-1681	3	350人
4	4	セツシア土庫	土岐津町高山4	54-2120	4	600人
5	5	いずみ保育園	泉町久野12-11	54-7752	2	110人
6	6	緑ヶ丘町内児童館	泉町久野1475-30	---	1	35人
7	7	久野神社	泉町久野784	55-3265	2	70人

この表は、マップに記載された避難場所の一覧です。
 避難所には、数日間の避難が可能な「指定避難場所」と短期的に避難する「避難場所」の2種類があります。
 まず避難する場合には、最寄りの避難場所に避難してください。避難が長期にわたる場合は、指定避難場所に避難してください。なお、色網のかかっている避難施設は、浸水想定区域内の施設のため浸水の状況により、2階以上の使用となりますので避難される際には、階層に気を付けてください。

凡例

- 指定避難場所
- 避難場所
- 避難の方向

浸水した場合に想定される水深

- 0.5m未満の区域
- 0.5m～1.0m未満の区域
- 1.0m～2.0m未満の区域
- 2.0m～5.0m未満の区域
- 5.0m以上の区域

過去の浸水区域(平成19年9月20日)

過去の浸水区域(平成11年6月30日)

要注意箇所(アンダーパスなど)
 避難時に支障が必要な方(災害弱者)が利用している施設(災害時要援護者施設)

この色分けは、堤防が決壊した場合に想定される浸水の深さを区域ごとに示したものです。
 避難される際には、その色分けに注意して避難ルートを検討してください。

これは、地下道や立体交差などの浸水しやすい場所を示したものです。
 避難される際には、この箇所を避けてください。

土砂災害に関する情報

- 土石流危険渓流
- 土石流危険区域
- 急傾斜地崩壊危険箇所
- 急傾斜地崩壊危険区域
- 地すべり防止区域

この表は、土砂災害に関する情報を色分けなどにより示したものです。大雨が続くと、土砂災害の発生が危ぶまれる区域です。
 避難される際には、この区域を避けてください。

※ほかの地区のマップについても同様の項目が記載してありますので、上記を参考に一度ご確認ください。



避難時の服装・持ち物

災害はいつ来るか分かりません 日ごろの備えが大切です

服装はレインコート・軍手・底のしっかりした歩きやすい靴を着用しましょう。
荷物はリュックサックなどにコンパクトにまとめ、両手が自由になるようにしましょう。

●非常時持ち出し品



災害伝言ダイヤル

171

忘れてイナイ?

災害時には電話が混雑し、家族と連絡が取れないことがあります。そんなときは、災害伝言ダイヤルがご利用できます。

NTT西日本

<http://www.ntt.west.co.jp/dengon/index.html>

▲ 伝言を入りたいとき

171 → 1
音声の流れます。

0572 →
市外局番が必要です。自宅の電話番号を入力します。

▶ 伝言を聞きたいとき

171 → 2
音声の流れます。

0572 →
市外局番が必要です。自宅の電話番号を入力します。

避難の仕方

落ち着いて正確な情報を得て行動しましょう

① 避難準備情報(要援護者避難情報)が出されたら……

避難の準備を始めましょう。

なお、一人暮らしのお年寄りや体の不自由な方は、避難を始めましょう。

市役所、消防署、警察署からの呼び掛けに注意しましょう。



テレビやラジオなどで、雨や台風などの最新情報を確認しましょう。



② 避難勧告が出されたら……

安全のため、早めに避難しましょう。

道路の浸水が始まりますので、車での避難はできるだけやめましょう。

避難する前に、電気・ガス・ストーブなどの火元を確認しましょう。

また、親せきや知人などに避難する旨を連絡しておきましょう。



子どもや高齢者、病気の人などは、早めに避難させましょう。

また、夜間の避難は大変危険ですので、余裕をもって避難しましょう。



③ 避難指示が出されたら……

川の水があふれたり、堤防が壊れたりするような洪水の危険が目前に迫っています。

指定された避難場所に、直ちに避難してください。

万が一逃げ遅れた場合は、電話や懐中電灯などで自分の居場所を救助隊に知らせましょう。





日ごろからの備え

1 非常食や持ち出す物を準備しておきましょう

日ごろから非常食や持ち出す物をリュックサックなどにまとめておきましょう。



2 避難場所や避難経路の確認をしておきましょう

最寄りの避難場所がどこなのか、そこへ安全に行くためにはどう行けば良いのか前もって確認しておきましょう。



3 一人暮らしのお年寄りなどに心配りをしましょう

地域に住む一人暮らしのお年寄りや体の不自由な方に目を向けるなど、普段から心配りをしましょう。



災害時要援護者（災害弱者）の安全な避難のために…

- お年寄りや幼児、障がい者など、自力で避難することが困難なため、災害時に支援が必要な方が近くにおられませんか？
- 洪水時にこのような方たちの避難が遅れないように、皆さんで支援・協力しましょう。



避難時の注意

万一に備えて避難の仕方をチェックしておきましょう

避難のときには、次の点に注意しましょう

●車での避難はできるだけやめましょう

交通渋滞を招き、浸水すると動けなくなる恐れがあります。特別な事情がない限り、避難は徒歩で行いましょう。

●緊急自動車の優先通行に協力しましょう



●できるだけ2人以上で避難しましょう

近所にも声を掛け、助け合って避難しましょう。



●子どもや高齢者、病気の人の避難に協力しましょう



●安全な道を通りましょう

できるだけ高い所にある道路を選び、溝や水路に十分注意しましょう。



●土砂災害にも注意しましょう

がけ崩れは大雨などにより突然起こるので、がけ地の近くは避けましょう。



注意点

- 想定を超える降雨や内水によるはんらんなどは考慮されていないため、実際の浸水の深さとは異なる場合がありますので、注意してください。
- 浸水想定区域の指定対象とならなかった個所や他の河川なら安全というわけではありませんので、大雨の際には十分注意してください。

- 大雨は、洪水ばかりでなく土砂災害も引き起こします。避難する場合は、土砂災害に関する情報にも目を通して、避難経路には土石流危険区域などがかからないよう慎重にルートを選択してください。
- 洪水が発生する恐れのある場合は、市からの避難勧告・指示が出されますが、危険を感じたら自主的に避難してください。

詳しくは、監理用地課（内線303）へどうぞ。

おわびと訂正

各地区共通土岐市洪水ハザードマップの右下段の表「浸水想定区域の対象区間と想定洪水について」で、肥田川の設定条件中の妻木川は肥田川の誤りでした。おわびして訂正します。